

シンポジウム

今輝いている3人から聞く
夢をかなえるヒントの数々☆☆

想い☆☆思い わたしのおもい

～活動のあゆみとこれから～

令和6年

10月27日(日)

13時30分～16時

シンポジウム終了後、登壇者との
交流会あります(お茶とお菓子有)

基調講演

つる つとむ

鶴司氏

NPO 法人あおいはる代表

登壇者

あさの ひでよ

浅野英世氏

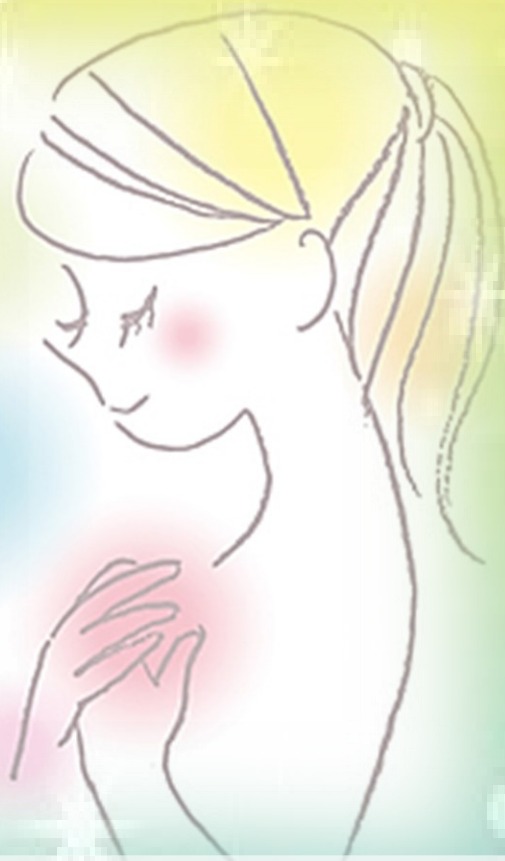
シニア2丁目代表

ベンベン

紙芝居屋のbenben氏

紙芝居師

各プロフィールについてはチラシ裏面をご覧ください。



会場：吉川市民交流センターおあしす
フィットネスルーム

参加費：無料

対象：現在何かに頑張っている方。また、
これから何かを始めたいと考えて
いて、活動のヒントを探している方。

定員：50名

申込み：要事前申込
市民活動サポートセンターまで
お電話か直接

お問合せ・お申し込み・主催 吉川市市民活動サポートセンター

吉川市きよみ野1-1(吉川市民交流センターおあしす内1F)

電話:048-984-1888(おあしす代表電話) 開室時間9時～18時(第1・3水曜日休室)

登壇者プロフィール

つる つとむ
靨 司

市民活動サポートセンター登録団体
NPO法人あおいはる 代表

「福祉ということばを使わなくても済む社会になるといいなあ。」あおいはるを立ち上げるまでこうつぶやいてきました。誰もが地域で役割を担い、普通に生きる社会の実現。

あおいはるは、この思いを持って吉川市で地域福祉の最前線を歩み、「だれもが地域で笑顔で暮らし働ける社会の実現」を理念とし、地参地生(ちさんちしょう)を旗印に福祉を今より一歩先に進めていくことを目指しています。

放課後等デイサービス TekuTeku・てくてく SUN を拠点に、障がいのある小学生～高校生の支援に取り組み、また、高校卒業後を含めた、ひとりひとりの子どもたちの長い人生全体を見通した支援として、卒業後の子どもたちへの支援の拠点となる<生活介護のらのら>をオープン。TekuTeku・てくてく SUN とのらのら、障がいのある子どもたちの人生全体をサポートできる3つの事業所を備え、多機能施設 Hands-on ファームも稼働し、NPO 法人あおいはるは仲間たちと歩んでいきます。



あさの ひでよ
浅野 英世

市民活動サポートセンター登録団体
シニア2丁目 代表

シニア2丁目は、これまで生活のために義務として働いてきましたが、そこを卒業して好きなこと得意なことで活動したいと考え、吉川市在住のシニア達で2022年11月に立ち上げたボランティアです。シニアをネットワーク化して、交流を深めながら、得意な分野で地元企業のサポートや、地域コミュニティとの繋がりを強めたいと考えています。本業であった仕事を“1丁目”とし、次のステップである“2丁目”を生きる事を示すネーミングです。現在、毎月一回「シニア講座」を開催し、多くの参加者より好評を得ています。



かみしばいや べんべん
紙芝居屋のbenben

紙芝居発祥の地とも言われる、東京都荒川区出身。

自身も、近所の公園に来ていた本物の街頭紙芝居屋さんを見て育つ。専門学校卒業後は都内で5年間の幼稚園勤務を経験。その後、結婚し埼玉県に在住、2人の子どものお母さんになる。30歳までの間に両親を亡くし、「生きる」とは何だろうと考えさせられ、生きている間にやりたいことをやろう、みんなに頑張っ生きていこうと伝えていきたいとの思いになった。喪失感で落ち込んでいた時にクラウン(ピエロ)の舞台を見に行き、そこで元気をもらった体験を踏まえ、自分もパフォーマーになりたいと考えるようになり、紙芝居屋をはじめた。

